

# お知らせ

## 山武市地域

### 新エネルギービジョン

今、わたしたちの住む地球は、主に化石資源(石油、天然ガス、石炭)を大量に使うことにより排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因で「地球温暖化」が進行しています。地域にある資源を活かしてこの問題に対応するため、山武市では、地域新エネルギービジョンを策定しました。

#### 限りある資源

化石燃料である石油などの資源をこのまま使い続けられれば、いずれ無くなってしまう。現在の技術で採掘可能な化石資源は、石油が41年、天然ガスが60年、石炭が133年と予測されています。

#### 新エネルギーとは

新エネルギーとは、自然の働きにより絶えず補給される太陽、バイオマス、風力、水力などから生成される「再生可能エネルギー」のうち、普及のために支援を必要とするエネルギーのことを言います。

太陽熱利用・バイオマス熱利用・温度差熱利用・雪氷熱利用・太陽光発電・バイオマス発電・中小規模水力発電・地熱発電・風力発電・バイオマス燃料製造

【新エネルギーに分類されるものは10種類。わたしたちが毎日使っている「熱」や「電気」を作ることができます。】

#### 新エネルギーを使うメリット

○環境にやさしい  
新エネルギーは、化石資源のエネルギーに比べて、環境への負担が低い。



太陽熱利用



木質バイオマス



中小水力



太陽光発電



バイオガス

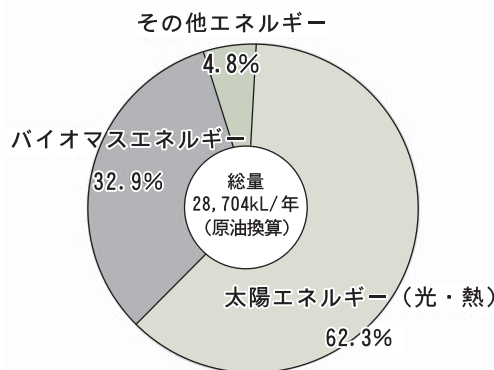
#### ○再生可能

使ってしまったら終わりでなく、自然の営みによって半永久的に使えるエネルギーを意味します。化石資源のように無くなる心配がありません。

#### ○地域にある資源を有効利用

海外からの輸入に頼ることなく、地域にある資源を利用することができます。

#### どのくらい使えるの 市の新エネルギー資源量



マス資源として有効に利用できるものが多くあります。

◇市には木質バイオマスがたくさんあります。

山武地域は、江戸時代から林業が営まれ、サンブスキを育てる技術が非常に発達した地域です。市内の森林面積は、4,420haであり、その内、サンブスキの面積は、1,268haです。

しかし、市内の森林の多くが荒れた状態になっており、枯れた木が大量に発生しています。森林を健康に保つためには、きちんと整備をして木を使うことが必要なのです。

【市の有力な新エネルギーは、太陽エネルギーとバイオマスエネルギー】

#### 「市100年の森づくり計画」と木質バイオマスエネルギー利用

◇市内の新エネルギー利用  
市内では、廃食用油を利用したBDF(バイオディーゼル燃料)車の他にも、大平区汚水処理施設に太陽光発電パネルや、道の駅「オライ」はすぬま」に3機の小型風力発電機を設置しています。

市の森林資源は、200年以上前から現在まで、人々が育て、利用することで、長い間受け継がれてきました。この資源は、未来に残していくべき大切な資源です。

森林資源を未来へ長く残していくためには、未来に向けてどのような森づくりを行っていくのかという長期的なイメージを作る必要があります。皆さんと協力しながら、50年後、100年後の社会をイメージした森づくり計画を積極的に作っていきます。

#### どのくらいバイオマス資源はあるの

まず、バイオマスとは「生物資源の量」という意味で、大きく「農林水産系」と「廃棄物系」に分けられます。家庭や工場で発生する「ゴミ」もバイオ